

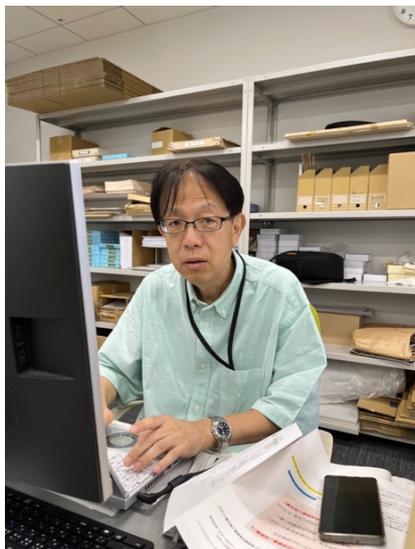
## 大阪府本部だより

2025.11.1. 発行 Vol. 42, No. 11 通巻第 326 号

発行人：吉田義隆

## ◇ 退職にあたりご挨拶 ◇

関西本部事務局長 小杉豊和



皆さま長い間大変お世話になりました。思えば 2011 年に右も左も引き継ぎもない状態で全日写連に異動してきました。

当初は組織自体がどうなっているのか全くわからず頓珍漢なことをしていたように記憶します。途中映像報道部に異動になったり兼務になったり皆さまには多大なご不便をおかけして申し訳ありませんでした。

年々先細りしている全日写連ですが、今後の行方は会員数の回復にかかっているかと思えます。ぜひ創立 100 周年を迎える全日写連を盛り上げて下さい。

今後はフリーランスとして全日写連関西本部を応援させていただきます。引き続き何かありましたらいつでもご連絡ください。長い間ありがとうございました。皆さまのご健康、ご多幸をお祈りしています。

全日本  
enjoy80 写真コンテスト  
審査結果発表

## ＜総評＞

全国から多数の応募をいただき、80 歳以上の方々が紡ぐ“今”の視点と感性に改めて心打たれました。作品は技術や表現の幅も広く、それぞれの人生が育んだ視点が作品に宿っていました。

一方で、「過度な補正に頼らず真実味を伝える」という基準を意識した選定を行いました。入賞作はいずれも、見る者の記憶と感情に寄り添う力を備えたものです。

審査委員長

入江泰吉記念奈良市写真美術館 館長  
大西 洋

## ●金賞

「僕も乗りたいな～」古川幸子（福岡県）

## ●銀賞

「不安」渡辺進（福島県）

「授乳タイム」宮前富美子（奈良県）

## ●銅賞

「雪の日の朝」田山雄史（埼玉県）

「漁場に生きる」山本芳子（大阪府）

「昭和の残像」楡郁太郎（東京都）

## ●審査員特別賞：黒瀬博恭（熊本県）

●入選：澤良世（東京都）、岡本洋三（東京都）乙部エミ（埼玉県）、永田和代（愛知県）、村田元（三重県）、三浦秀夫（京都府）、関智恵子（福岡県）、川端萬里子（熊本県）



「僕も乗りたいな〜」 古川幸子（福岡県）



「漁場に生きる」 山本芳子（大阪府）

第 23 回全日本動物写真コンテスト  
審査結果

<総評>

今年も数多くの力作が寄せられました。作品を拝見して、皆さんの動物への関心の高さが伺えます。

一般部門は、動物園や公園で撮ったものや家庭で飼っているペットなどが主な被写体でした。行きつけの場所に何度も通わないと撮れない写真もたくさんあり、作者の意欲が伝わってきます。また、ペットは、何と云っても愛情がものをいいます。ほのぼのとした作品には、心が癒やされました。

野生部門は、ワイドな視点のものから望遠やマクロまで、バリエーションが豊かで、審査員一同楽しく拝見しました。決定的瞬間を狙った秀作が多く、生物の生態を知らないと撮れない作品もありました。これからも、新たな作品を期待しています。

審査委員長 今森光彦

<大阪府本部会員 入選作品>



一般・入選「息継ぎ」 雁尾幸男



野生・入選「擬態」 松尾のり子

秋の撮影会ご報告



10月12日 秋の撮影会 枚岡神社「秋郷祭」は曇り時々小雨の中、約130名もの会員の皆様にご参加いただき無事に開催する事が出来ました。府下最大級の秋祭りだけあって、スケールの大きな活気溢れるお祭りでした。

ご参加いただいた皆様、いい写真が撮れましたか。自信作を是非コンテストにご応募ください。

締切日は11月12日です。お待ちしております。

## 『ワンランクアップの作品作り』 勉強会のご報告

近年、夏の猛暑が毎年続いており、屋外での撮影会は体力的に大きな負担となることから、今年は冷房の効いた会議室にて、総本部理事山中健次さんを講師に招き『ワンランクアップの作品作り』をテーマにした勉強会を実施しました。

当日は、まず講師の優れた作品を見ながら、写真コンテストに応募する際の心構えや、多くのコンテストで審査されている立場から評価されるポイントなどについて解説していただきました。

次に、祭りなどイベントであらかじめ用意された場面をそのまま写す「記録写真」と、自分なりの視点や工夫を加えた「作品写真」の違いについて、具体例を交え分かりやすく説明がありました。さらに、撮影後の作品仕上げについても触れ、より印象深い作品へと上げるための工夫や編集の基本について紹介がありました。

最後には、参加者からの質問にも丁寧に答えていただき、日頃の撮影や作品づくりに役立つ知識とヒントを得ることができました。充実した有意義な時間となりました。

大阪府本部委員長 吉田義隆

## 冬のバス撮影会のお知らせ

2026年1月21日(水)、和歌山県立自然公園「白崎海洋公園」と日本遺産「雑賀崎」への撮影バスツアーを開催します。“日本のエーゲ海”と称される白崎海洋公園では、白亜の海岸線と青い海のコントラストを満喫。続いて、絶景の宝庫「和歌の浦」を構成する風光明媚な雑賀崎では、漁港と街並みが織りなす情景を撮影します。タイミングが合えば、獲れたての魚介類を船上から直接買うことができます。新鮮な食材と写真をダブルでゲットしましょう！（発泡スチロールの入れ物は漁港でも販売しています）  
申込締切：12月10日、会員9,000円、非会員・WEB会員12,000円申込はハガキで郵便番号・住所・氏名・年齢、携帯番号・会員番号、非会員又はWEB会員は「一般」と明記 後日、参加費振込用紙を送付 送付先：〒530-0005 大阪市北区中之島2-3-18 全日本写真連盟 大阪府本部「冬の撮影会」係  
詳細はフォトアサヒ11・12月号に入るチラシをご覧ください。

## 読者の広場

### <第2回フロウ20作品展より>



宙返りをしている少年を外国人カップルがチラリと見えています。すぐ言葉をかけ撮りました。もう少し、明るい服装であった方がより良かったと思います。

【フロウ20「宇宙散歩」森山雅彦】



深く澄んだ池の周りには大勢の人が集って何かを見ていました。黄色い鯉でした。反対側の人が水面に映っていたので撮影しました。

画像は上下反転して展示しました。

【フロウ 20「人だかり」 芦原千恵子】



養殖地にネットが張ってあり、そこに夕日があたりきれいだったので撮りました。

12月の寒い日の夕方でブルブル震えながらの撮影でした。上の輝く湖面をどの程度入れるか苦労しました。

【フロウ 20「夕映えの池」 東千佐子】



ビーチを歩いているとコンクリートの壁の中央に四角い穴が開いている面白い構造物を見つけました。

その中に楽しそうに女性らが自撮りをしていました。

許可を得て、ゆらぐヤシの木の影とともにフレームにセットして撮りました。

【フロウ 20「青春の香り」 金子栄二】

## 写真展のご案内

### 第4回フォトさくら支部展

11月28日（金）～12月4日（木）

富士フィルムフォトサロン

### 第3回アマテラス写真展

フォトフレンズZ・東住吉フォトガ

ンバ・2003 写創 合同写真展

12月2日（火）～12月7日（日）

江之子島文化芸術創造センター

〒530-0005 大阪市北区中之島 2-3-18

全日本写真連盟大阪府本部

Tel:06-6201-8006 Fax:06-6201-0285

メール: nissyaren@osaka.email.ne.jp